

記入例

○本人を知るための地図(様式2-1及び2-2)

○ニーズ整理表 「100文字要約」(様式3)

本人を知るための地図 1

(1) 現在状況の整理(アセスメント情報を整理)

①私は、今までこんな生活をしてきました。

生育歴・職歴から事実を記載

②私は今このような環境で生活しています。

家族歴・本人を取り巻く環境から事実を記載

③私の不安や気にしていることは？

障害・病気・環境などが原因で起きている困りごとなどはないか。何に困っているか(阻害要因)

④私が持っている力、得意なこと

私の強み(ストレングス)・可能性

(2) 私の「こうなりたい」という思い・願い

⑤私は、〇〇で暮らしたいです。私の今の願い、希望は〇〇です。

今、私は〇〇をやりたいです。

本人の言動等確認・・・本人の言葉。発語が十分でない人は、願いや希望が読み取れそうな行動を記載。

(3) 将来の暮らしに向けた支援

⑥私の将来の夢、希望は〇〇です。
私は〇年後こんな暮らしをしたいです。

今の暮らしと希望する暮らしにギャップはないか中長期的な暮らしの目標

本人を知るための地図 2

※下枠内に、時生さんを具体的にイメージできるように人物像を描いてください。
(手書きで描いたイメージ図をスキャンしたものや、イラストデータを挿入する)



人物像の周りに、イメージしやすいように、性格や見た目のイメージ、好きなものなどを追加してもよいです

演習事例とは 関係ありません

参考資料：100字要約記入例

～100字程度で本人の思いを要約する～

【事例】※課題事例とは異なります。

Aさん 50歳 男性 知的障害(療育手帳B)

中学校卒業後、自宅で両親の畑の仕事を手伝いながら生活していました。Aさんは、簡単な会話を交わすこともでき、ご飯も自分で食べることができます。

しかし、お金の計算が苦手なので一人で買い物には行けません。市役所から時々Aさん宛てに書類が来ていましたが、難しいので手続き等は全部両親にしてもらっていました。

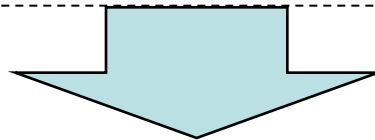
ところが、最近になってお父さんが病気で亡くなり、お母さんも高齢になり、Aさんのことはおろかお母さん自身の身の回りのことを誰かにしてもらわないといけなくなってしまう状況になってしまいました。

親族が集まって相談した結果、お母さんは老人介護施設に、Aさんは障害者支援施設に入ってもらって、そこで新しい生活をしてもらうことになりましたが、今後Aさんの障害年金や通帳の管理、施設に入所する際の契約などを誰がするのかで、みんな悩んでしまいました。

そこで、成年後見制度を利用して、Aさんに代理人をつけてもらうことにしました。親族の一人が代表して家庭裁判所に申し立ての手続きをした結果、Aさんには補佐人が選ばれることになりました。

補佐人は、早速Aさんや親族と面会し、Aさんの今後の生活のすすめ方や財産の状況を聞いて、家庭裁判所に報告しました。その後、施設との入所契約等の手続きを進めました。それから通帳を預かり、毎月記帳することになりました。その中からお小遣いを渡していくこともAさんと約束しました。

現在Aさんは、新しい施設で少しずつ友達もでき、支援職員にも慣れながら頑張っている生活しています。今は、お母さんのお見舞いに行くことを一番の楽しみにしているようです。



【100字要約例】

「私は、身の回りのことはできるけどお金の計算が苦手なので、成年後見制度を使って、お小遣いの管理やいろいろな手続きをしてもらいながら施設で暮らし始めました。お母さんのお見舞いに行くことが一番の楽しみです。」